

**「禅研究の世界発信に関する
駒澤大学のトータルな禅（ZEN）ブランディング・プランの募集」**

【公募要件】

【募集内容・規模等】

- 《募集内容》 禅（ZEN）研究ブランドの世界発信におけるトータルなブランディング・プラン
《事業期間》 2017年3月 ～ 2021年3月（予定）
《募集要件》 ・日本国内に法人登記をしている企業であること。
・過去に同様のプロジェクトの経験があること。
《事業規模》 6,000万円（1,200万円×5年間）
※ただし、事業の進捗・事業内容の評価等により、金額について変更する場合があります。

【審査について】

《一次審査》

書類審査を行います。下記の書類を1月31日（火）17：00までにご提出ください。

<提出書類>

- ・事前登録審査申請書（様式指定）
- ・過去3年の実績がわかるもの等

①一次審査（書面審査）

「事前登録審査申請書（様式指定）」、「過去3年の実績がわかるもの等」

※一次審査通過者には、2月上旬までに電子メールでご連絡いたします。

《二次審査》

二次審査に向け、【本事業の概要】に記載されている「3.目標（5年後のゴール）および行動計画」を踏まえ、企画書等を作成し、ご提出ください。

なお、「3.目標（5年後のゴール）および行動計画」のA.～C.に関連する応募者の独創的・先駆的な提案がある場合は、その世界観、斬新さ、デザイン性、実行性、そして効果的なプランであるかをふまえ、特に高く評価いたします。

審査の上、最優秀プランとして認められたクリエイターは、本学と「禅（ZEN）の世界発信についての共同事業契約」を締結したいと考えています。

<データ提出締切> 2017年2月20日（月）

<審査会日程> 2017年2月下旬（予定）

一次審査通過者による審査会(プレゼン)を実施し、最優秀プランを決定

【本事業の概要】

1.目的

駒澤大学は 1592 年に創立した曹洞宗の学林「旃檀林（せんだんりん）」を由来とした大学です。曹洞宗の底流に流れる禅（ZEN）の思想は、今日ではクールジャパンとして知られる日本食、日本建築・庭園、華道、茶道などの日本文化の広まりや、海外での瞑想（メディテーション）やマインドフルネスのブームと関連して、教育、ビジネス、心理カウンセリング、アートなど様々な形で世界に普及しています。

本学は禅（ZEN）の源流に存する研究機関としてこれらの拡がり捕捉し、またその伝統的な考え方を世界に広く発信することで、混沌としながらも時に体系化されながら広まっていく禅(ZEN)の思想や多様な禅（ZEN）の活動の HUB としての役割を駒澤大学が任ずるべきだと考えています。

世界中に展開された禅（ZEN）についての研究機関としての取りまとめの役割を果たすことで、海外からの評価を得ることにつながり、世界における本学の存在価値を表すことが本事業の目的です。これにより本学の在校生や志望者はもちろん、研究者、教職員、保護者、卒業生、地域住民といったステークホルダーからの高い期待に応え得る機会にしたいと考えています。

2.事業概要

2016（平成 28）-2021（平成 33）年度の期間において実施する、本事業の概要は下図のとおりです。

『禅と心』研究の学際的 国際的拠点づくりとブランド化事業



3.目標（5年後のゴール）および行動計画

禅（ZEN）の社会貢献・世界発信事業では、2020年までに次の1）～3）を達成できるよう、A～Cの行動計画を設定しています。

☆ 目標（5年後のゴール） ☆

1）世界における禅の多様性の理解（禅思想の逆輸入）

世界における禅の解釈や展開の広がりや、本事業を通じて知ることができ、海外での発展的展開を知ること、禅の研究拠点である駒澤大学の存在価値を改めて再認識する。

2）日本的な禅の考え方や展開の世界発信

日本の伝統的な禅の考え方や日本における禅の展開を世界に示していくことで、日本文化や近年のクールジャパンなどに影響した禅の思想的背景の理解を促進する。さらには本学における学部横断的な研究による新しい知見や応用研究をも発信していく。

3）ステークホルダーや一般の方へ駒澤大学の存在価値の再認識

これまで日本において仏教系大学はキリスト教系大学と比較して、必ずしも高い評価を得てきたとはいえない状況が続いてきた。近年、欧米圏からアジア圏へとパワーシフトが展開されるなかで、本学が伝承してきた文化価値や研究資産を再認識し、ステークホルダーからの再評価を得て、認知度やロイヤルティの向上をめざし、学生や卒業生のアイデンティティの一つとなることを期待する。

☆ 行動計画 ☆

- A. ウェブサイトを用いた情報発信
- B. 本学資産を活用した禅（ZEN）の体験、関連機関とのネットワーク構築
- C. 本事業のロゴやキャッチコピーの活用

A. ウェブサイトを用いた情報発信

A-1) 『Cross&Inter-disciplinary Research』プロジェクト

駒澤大学において5年間で学部横断的に行われる「心と体の研究」「禅と日本文化」「禅と社会制度」の研究成果をウェブサイト上で広報する。

A-2) 『駒澤大学の研究蓄積の世界発信』プロジェクト

駒澤大学にある重要な研究蓄積を外国語に訳し、ウェブサイト上でその研究成果を広く世界に公開する。学内の禅文化歴史博物館、仏教経済研究所、禅研究所、仏教文学研究所、図書館などと連携して発信する。

A-3) 『Art Collaboration ～What is ZEN for you?～』プロジェクト

禅に関心を持ちながら各界にて活躍する人物を取材し、ウェブサイト上で広報する。またデジタル・メディア、インタラクティブ・メディアをつかった新しい禅の表現を行うアーティスト、ミュージシャンやメディア・クリエイターを広く発掘や公募し、公表する計画をつくる。ソーシャル・ネット・サービスとの連動によるシェアも検討する。

A-4) 『Connecting Zen』プロジェクト

国内外に広がる禅研究所や禅センターと連携し、ウェブサイト上でそれらの機会の最新の発信情報が一覧できるようにする。

例) <http://cw.uhs.harvard.edu/mindfulness/index.html>

<https://cambridgezen.org/>

<http://sfzc.org/>

<http://zcnyc.mro.org/>

<http://global.sotozen-net.or.jp/eng/>

A-5) 『ウェブサイト構築および保守管理』プロジェクト

A-1) ～5) を実施するための独立したウェブサイトを構築する。効果的に発信するため、新しい技術や斬新なアイデアを活かすため、サーバーやバランサー等の効率的な運用を行う。動画などは youtube の活用も一考し、その保守管理の適切なコストや体制を提案する。

B. 本学資産を活用した禅 (ZEN) の体験、関連機関とのネットワーク構築

B-1) 『Visiting & Feeling Komazawa & Zen Temple』プロジェクト

東京オリンピックまでに、本学の禅文化歴史博物館や坐禅堂の機能を拡充する具体的プランを検討する。禅 (ZEN) に興味をもった若者や外国人が本学を訪れることで、その考えを体系的に理解できるようにする。さらに全国の曹洞宗 (臨済宗) の寺院とのネットワークを構築することにより、現地を訪ねる機会となるようにする。

C. 本事業のロゴやキャッチコピー等の活用

C-1) 『禅グッズ開発』プロジェクト

ロゴやキャッチコピー、キャラクターの作成やグッズ開発などによって、駒澤大学と禅 (ZEN) を広める企画を実施する。またグッズ開発に関しては、ロゴを用いて多くの企業が参加・協力できるような仕掛けを考案する。

以上

《本事業に関する問い合わせ先》

駒澤大学教務部研究推進課内

駒澤大学 禅 (ZEN) ブランディング事業 禅 (ZEN) の世界発信グループ

e-mail : zen-plan@komazawa-u.ac.jp